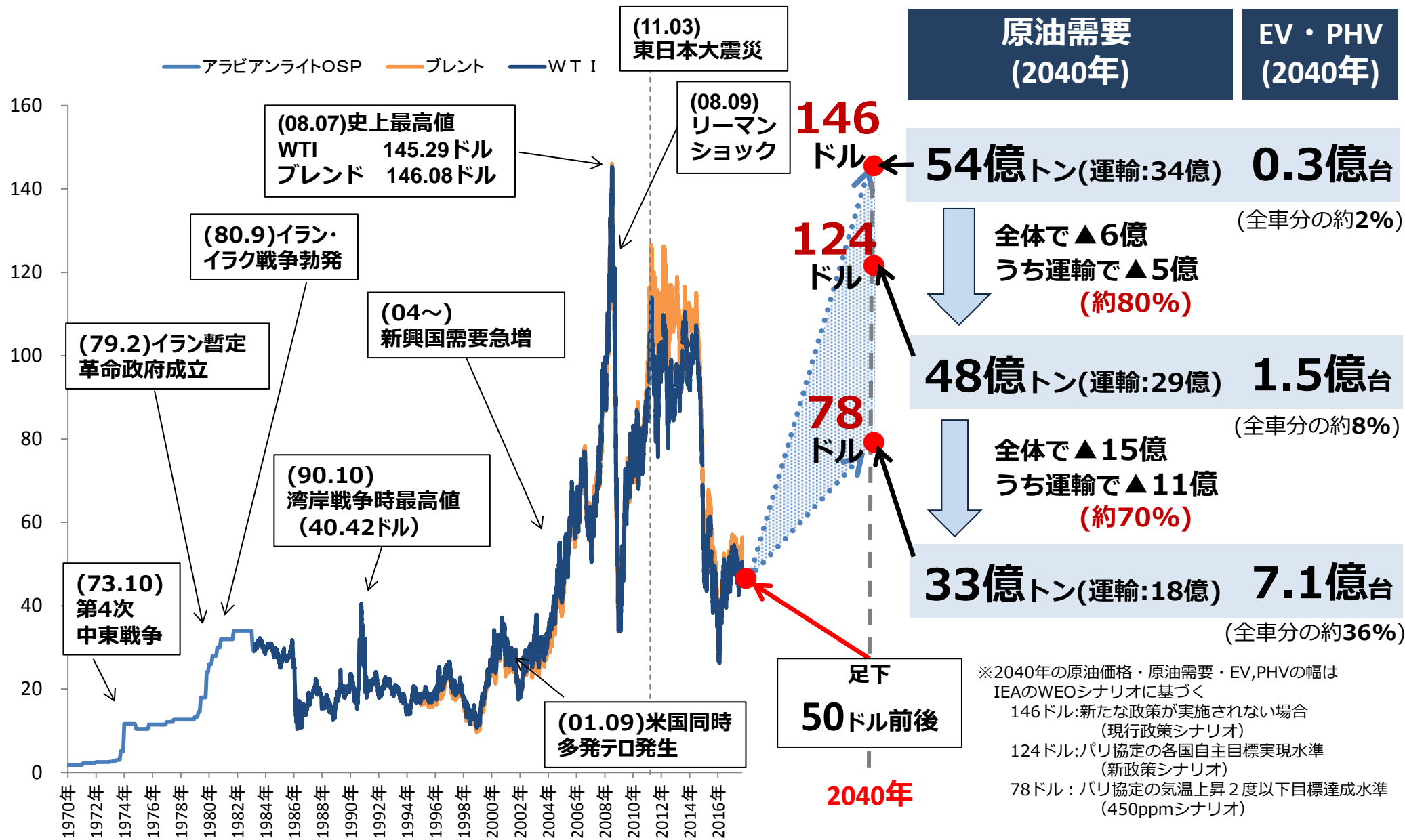


# 資源、地政学、国家戦略

平成29年9月29日  
資源エネルギー庁

# 油価は変動を繰り返し、足下50ドル。長期の資源価格をどう考える？

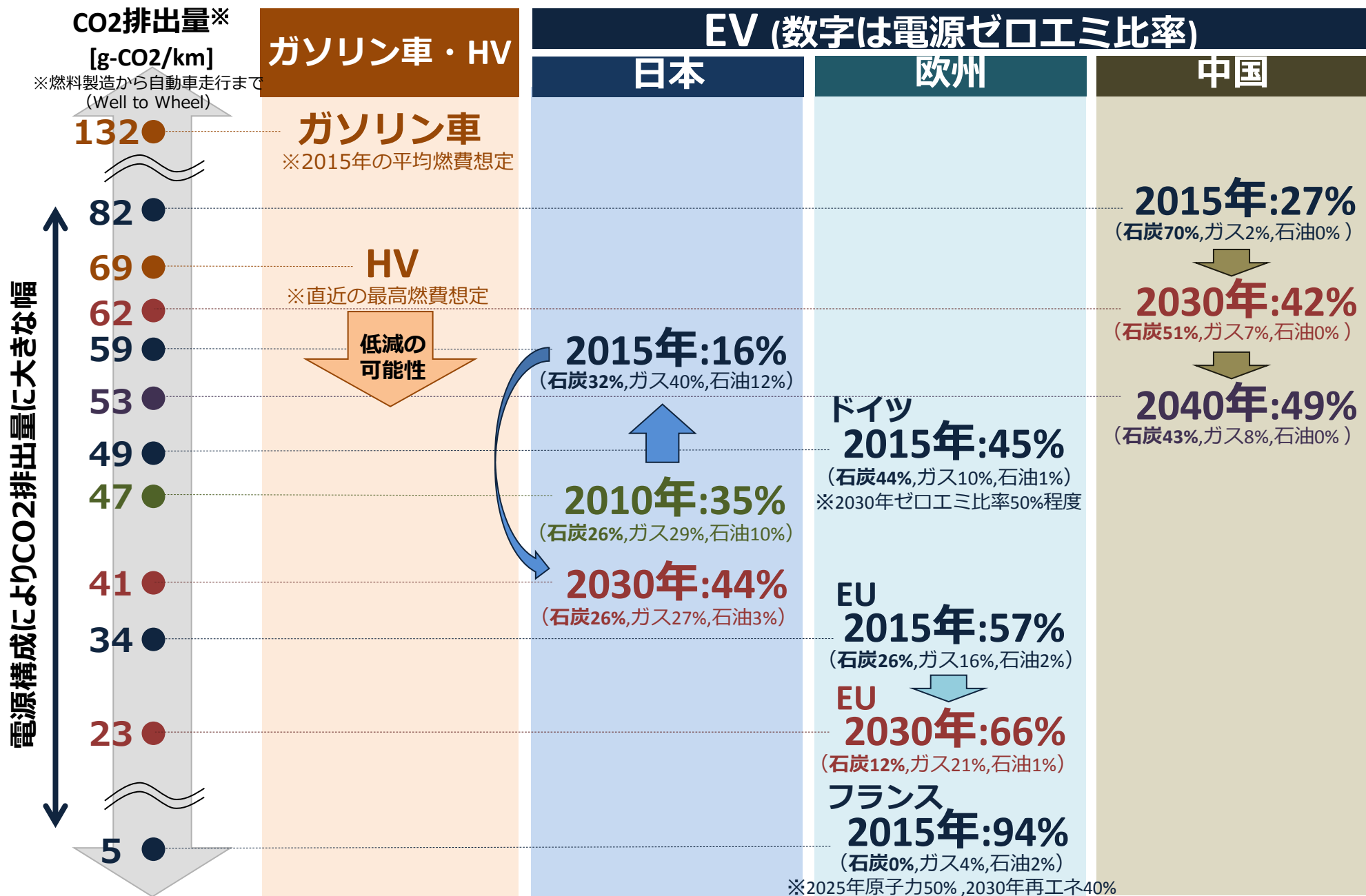


※2040年の原油価格・原油需要・EV,PHVの幅はIEAのWEOシナリオに基づく

- 146ドル: 新たな政策が実施されない場合 (現行政策シナリオ)
- 124ドル: パリ協定の各国自主目標実現水準 (新政策シナリオ)
- 78ドル: パリ協定の気温上昇2度以下目標達成水準 (450ppmシナリオ)

※ 1983年にWTI先物 (NYMEX) とブレント先物 (IPE、現ICE) が上場。  
 ※ 価格はバレル当たり、需要は原油換算。  
 ※ 運輸部門の需要減少には燃費改善等他の要因も寄与。EV・PHVの普及は一例。

# (参考) EV化のCO2インパクトはゼロエミ比率により大きく異なる



# 日本は、資源に乏しく、**自給率が特に低い**。長期的にどうあげていくか。

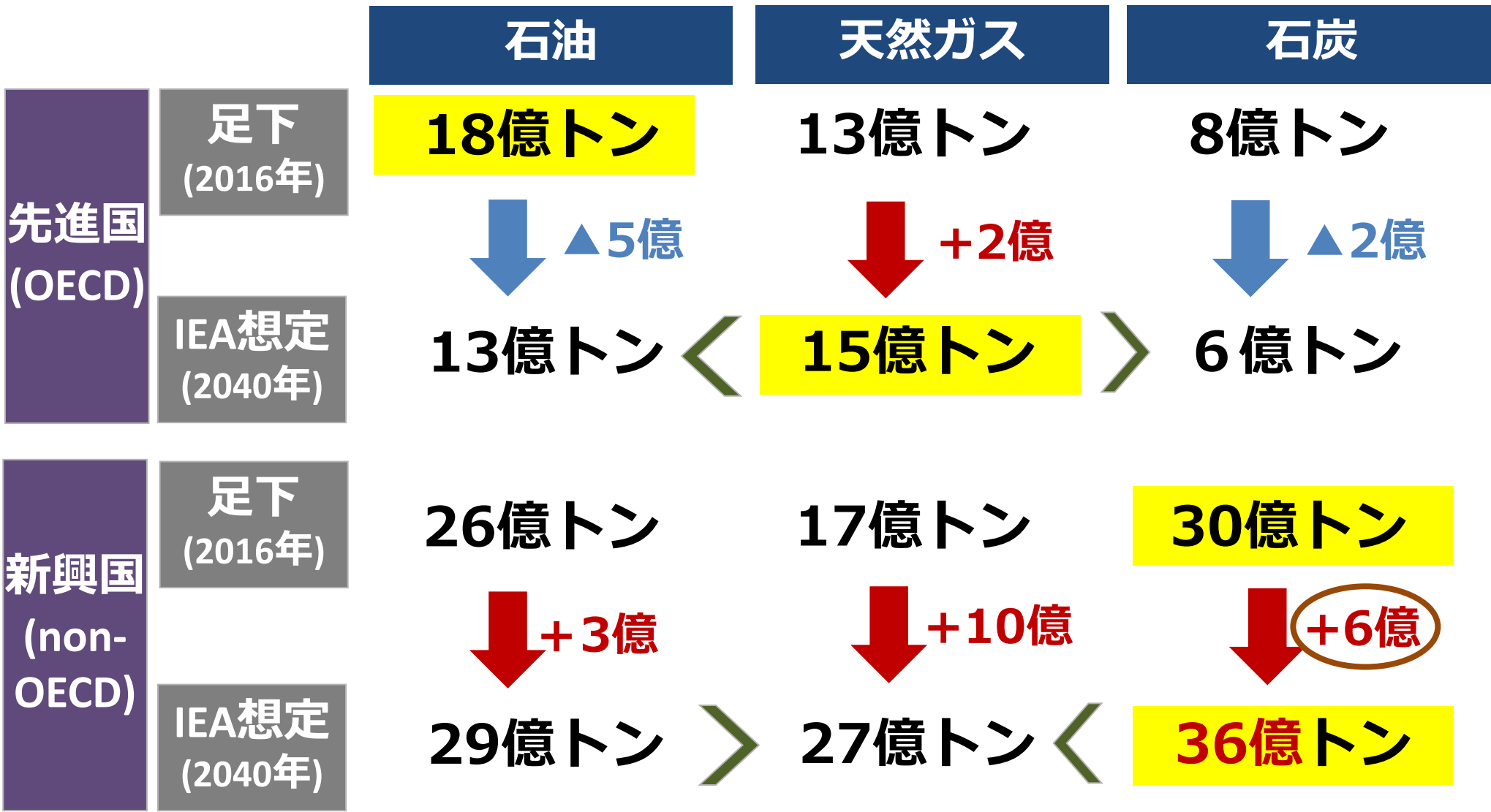
	自給率 (2000年)		自給率 (2016年) <small>※中印は2015年</small>	主な 国産資源
米	73%	↗	88%	天然ガス 石炭・石油
英	74%	→	67%	石油
独	40%	→	37%	石炭
仏	52%	→	54%	原子力
中	98%	↘	84%	石炭
印	80%	↘	65%	石炭
日	20%	↘	<b>8%</b>	無し

# 日本は、特に中東に依存して輸入。長期的な中東情勢は？

	石油			ガス		
	輸入依存	うち中東	最大輸入先	輸入依存	うち中東	最大輸入先
米	41%	8%	15% カナダ → パイプライン連結	3%	0%	3% カナダ → パイプライン連結
英	22%	1%	12% ノルウェー → パイプライン連結	46%	10%	32% ノルウェー → パイプライン連結
独	96%	4%	37% ロシア → パイプライン連結	90%	0%	44% ロシア → パイプライン連結
仏	97%	25%	15% サウジアラビア → タンカー輸送 <small>※欧州大でパイプライン連結</small>	99%	2%	40% ノルウェー → パイプライン連結
中	61%	31%	9% サウジアラビア → タンカー輸送 <small>※ロシア等とパイプライン連結</small>	29%	4%	15% トルクメニスタン → パイプライン連結
印	83%	46%	15% サウジアラビア → タンカー輸送 <small>※パイプライン無し</small>	40%	25%	22% カタール → タンカー輸送 <small>※パイプライン無し</small>
日	99%	85%	37% サウジアラビア → タンカー輸送 <small>※パイプライン無し</small>	98%	23%	28% オーストラリア → タンカー輸送 <small>※パイプライン無し</small>

出所：IEA・Energy balances他から資源エネルギー庁作成 ※中・印は2015年のデータ

# 先進国はガスシフトも、新興国は石炭依存が継続見込み。 日本のCO2削減への貢献のあり方は？



出所：IEA・WEO2016等 (New Policy シナリオ)  
※単位：原油換算トン。